

施策マネジメントシート(平成28年度の振り返り、総括)

作成日 平成 29 年 6 月 14 日

基本目標	V	豊かな心と文化を育むまち	主管課	名称 教育課 課長 杉木 隆司
施策	27	生涯学習の推進	関係課	

施策の目的	対象	意図	基本事業名	対象	意図
	①町民	①生涯を通じて自主的に学習する。		基本事業	1 学習意欲の高揚
			2 学習機会の充実	生涯学習に取り組んでいる人、意欲や関心がある人	学習する機会を得られる。
			3 学習環境の整備	生涯学習に取り組んでいる人、意欲や関心がある人	学習する場を確保できる。
			4		
			5		

成果指標	成果指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	A	日頃から、生涯学習を行っている町民の割合	%	実績値	35.5	27.4	25.7	23.9	23.9	25.4
			目標値		35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0
B	文化協会加盟団体登録者数	人	実績値	1,331	1,314	1,207	1,012	1,041	1,024	
			目標値		1,320	1,320	1,320	1,320	1,320	1,320
C	生涯学習施設利用者数 (中央公民館・水上公民館・新治公民館)	人	実績値	13,700	13,865	13,227	13,279	12,244	10,013	
			目標値		14,000	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000
D			実績値							
			目標値							
E			実績値							
			目標値							
F			実績値							
			目標値							

指標設定の考え方と実績値の把握方法	A) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。 町民アンケートにより把握 ※あなたは日頃、テーマを持って学習活動に取り組んでいますか。→「ほぼ毎日」、「週に1日以上」、「月に1回程度」、「年に数回程度」と回答した人の割合
	B) 文化協会登録団体者数 (自らの教養を高めるための学習活動を行っている人達) であり、数値が変わらずに推移すれば目標が達成できているといえるため成果指標とした。 C) 中央・水上・新治の3公民館で生涯学習のために利用した人数であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。

目標値設定の考え方	A) 生涯学習を行っている人(文化協会など)には高齢者の割合が高い。 若い人の参加が鈍いことを考えると、今後、学習を行っている人の割合が徐々に減少すると想定される。 平成20年度水準(35.0%)を維持し、町民の3人に1人以上が生涯学習を行っている状態をめざす。 B) 文化協会加盟団体者数は、高齢者が多く人数も減少傾向である。現状を維持するため各文化団体を支援し町文化祭への参加と充実。また生涯学習活動のきっかけを作る事業を実施し、文化協会に加盟してもらえよう自主活動グループの育成をめざす。 C) 施設利用者数は町内教育委員会管理施設で開催されている各教室、講座等の延べ数。
-----------	---

施策のための目的・役割分担	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割 ①生涯学習の必要性を感じ、生きがいとなるような学習活動を行う。 ②学習の楽しさを広め仲間づくりを行うなど、普及啓発に取り組む。 ③指導者となり、さらには後継者を育成する。	2. 行政(町、県、国)の役割 ①生涯学習の機会の提供や契機づけを行う。 ②生涯学習施設の整備と管理運営を行い、生涯学習を行うための場を提供する。 ③生涯学習を行う人・団体の活動を支援する。
---------------	--	--

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか? ①今年度のアンケート結果を見ると生涯学習を行う人の割合は30代から40代が低い結果となっている。 ②生涯学習に関して、今後5年間で法的に大きな変更はない。 ③社会教育委員により報告された町内の図書環境についての提言書を受け、蔵書検索機能の導入及び図書管理システムの一元化の検討。 ④今後、高齢者の利用が増加するためバリアフリー等、利便性の良い施設が必要となる。	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか? ①毎年、講座終了後のアンケート等から手軽(初心者向け)に学びたいという声があり、学習講座の開催を希望する声がある。 ②各団体の講習会等開催チラシ配布の依頼や後援等の支援要望がある。 文化祭の会場設営では、参加者の高齢化に伴い手伝いを出していただきたいとの要望がある。 ③各図書室について改善要望の声がある。 ④施設によっては、駐車場の確保やバリアフリーが必要という声がある。
-----------	---	--

施策	27	生涯学習の推進	主管課	名称 教育課 課長 杉木 隆司
----	----	---------	-----	--------------------

施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	実績比較		背景・要因	
	① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。	<input type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	①日頃から生涯学習を行っている町民の割合を年度比較すると、平成27年度23.9%、平成28年度25.4.%と微増となった。年代別の内訳で比較すると一番落ち込みが大きかったのが20才台のマイナス17.3%で、逆に40～60才台は全て増加に転じている。 また、平成28年度を年齢別の割合で比較すると、30～40才台の取り組み割合が低く平均で21.0%となっている。 ②毎年団体数・会員数が減少傾向にあり、会員の高齢化も進んでいるため、活動が困難となる団体が生じている。 ③各公民館は活動の拠点となっており、サークル活動や学習会等が行われている。利用者は年々減少している。 今回の減少については、利用団体を実数に近い状況に精査したため。
		<input type="checkbox"/> かなり高い水準である。		
	② 他団体との比較	<input type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。		
<input type="checkbox"/> ほぼ同水準である。				
③ 目標の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。	①一般に公民館講座と呼ばれるような町民向けの学習講座が少なく、みなかみ町の公民館事業としての講座やイベントは実施していない。(生涯学習推進室の企画事業のみの実施) ②文化協会の活動は近隣市町村と比べ自主的に企画立案しており、活動内容【研修会・講習会・後継者育成等】の充実が図られている。平成28年度郡内の文化協会員数(人口比率)は、みなかみ町1,024人(5.1%)、昭和村442人(5.8%)、川場村396人(11.7%)、片品村403人(8.6%)であり人口比率では郡内では低い位置にある。 ③図書館の無い自治体は、県内35市町村の内みなかみ町を含め12町村である。図書室の1人当たりの蔵書冊数は、みなかみ町 3.3冊、昭和村 2.4冊、川場村 3.7冊、片品村 1.7冊で、郡内では比較的高い位置にある。		
	<input type="checkbox"/> かなり低い水準である。			
	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。			
	<input type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。			
	<input type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。			
	<input checked="" type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。	①アンケート結果は目標値を下回っている。ただし、生涯学習は多種多様であり、個人の意識もそれぞれ差がある。学習を行っていると捉えている人、あくまでも趣味として楽しんでいる人など、様々でありアンケートでは捉えられない部分もある。 ②文化協会登録者数は目標値を下回っているが、文化協会は高齢化が進み継続できない団体もあるなか、役員を中心に活動は活発である。文化祭や教養講座等自主的に運営されている。 ③公民館利用者数は目標値を下回っている。各地区公民館のうち新治公民館の利用者が少ない状況である。各施設での活動内容は、サークルの学習活動やキッズセンター等、青少年の体験活動の機会提供や居場所づくりに利用されている。		
	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。			

成果実績に対する総括	①文化・社会教育の振興を図るため、公募により、活動団体に対して文化活動補助事業補助金(計500千円)を7団体に交付した。 ②文化水準の向上、生涯学習への意欲の向上のため文化祭を開催し、各団体日頃の学習成果の発表の場を設けている。 ③社会教育委員連絡協議会において、社会教育に関する諸計画の立案、会議の開催、研修会へ参加したことで、社会教育委員としての資質の向上ができた。それが契機となり、町内図書環境について提言をまとめたり、生涯学習フェスティバルの主管団体として企画立案から当日の運営まで行った。 ④平成28年度の生涯学習フェスティバルは、大幅に内容を見直し、町内で生涯学習活動を実践している団体の発表と交流を促進する機会とした。参加者は約200名であった。 ⑤「住民の新たな学習に向けたきっかけの提供」を目的とし、トランプマジック入門講座と基礎から学ぶみなかみ町の歴史講座を開催した。マジック講座は修了後、受講生による主体的なサークル活動が公民館で行われている。歴史講座も定員を大きく上回る盛況ぶりです学習資源の活用を図った。 ⑥今回初めての試みとして、カルチャーセンター自主事業で、演劇集団「風」による【ヘレンケラー】の演劇鑑賞会には、午前・午後の2部公演で350名の参加があった。 ⑦平成27年度に続き、町内のコーラスグループの発表の場として、カルチャーセンターの自主事業で「みなかみ町合唱祭」を開催した。
------------	---

今後の課題と取り組み方針(案)	基本事業名	今後の課題	平成30年度の取り組み方針(案)
	1 学習意欲の高揚	①生涯学習に意欲・関心のない町民に対し取組への意識付けが必要である。(30～40代) ②各種広報媒体を活用し、生涯学習に要する情報の提供や啓発が必要。	①生涯学習フェスティバルの定着を図り、生涯学習の楽しさや必要性を啓発する。 ②社会教育委員に意見を求め、興味・関心を引く教室や講座を企画し、多くの方に参加いただけるよう広報等により啓発活動を行う。
	2 学習機会の充実	①町民のニーズに応じた学習の機会を増やしていく必要がある。 ②自主的に学習活動するグループの活動を支援し、指導者の育成を図る必要がある。 ③文化協会加盟団体の中には高齢化が進み継続が困難な団体もあるなか、既存団体の活動支援を図る必要がある。	①各種講座等の自主学習グループを支援する。 ②カルチャーセンターの自主事業を充実させるとともに、各団体と連携し文化振興を図る。 ③若山牧水顕彰短歌全国大会を関係部署と連携し実施する。
	3 学習環境の整備	①町内4ヶ所の図書室と公民館会議室等の利便性と利用環境の改善 ②施設の老朽化が目立ってきており、利用客の安全面を最優先した修繕が必要。	①図書室の利便性の向上に向け、図書管理システムの導入に向けた取組を行う。 ②施設の状況を的確に把握し、緊急性の高い箇所から修繕を継続する。
4			

27 生涯学習の推進

平成 28 年 7 月 11 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000001	社会教育委員事業	① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	210,812 円				
施策体系	施策	27	生涯学習の推進		町で社会教育環境を検討、向上を目的として活動する社会教育委員の支援を行う。	今年度町の図書環境についての提言書をまとめあげ、生涯学習フェスティバルについても主管団体として位置づけた	事業実績					
	基本事業	01	学習意欲の高揚				会議回数					
根拠	無	組織	教育課	課長	杉木 隆司	④今後の方針・課題解決策	生涯学習フェスティバルの主管のみでなく、活動を活性化させるような提案をしていきたい。					
事業期間	継続事業	会計	1	款	10	項	6	目	1	平成27年度	平成28年度	単位
	H ~ 年間									5	5	回

平成 28 年 7 月 11 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000001	文化協会活動支援事業	① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	802,000 円				
施策体系	施策	27	生涯学習の推進		町内文化団体で組織するみなかみ町文化協会事務を行うとともに文化振興の推進に寄与する団体・個人へ補助事業を行う。	様々な部門をまたいで各団体同士の連携を調整し、みなかみ町文化祭を実施した。	事業実績					
	基本事業	02	学習機会の充実				文化団体数					
根拠	無	組織	教育課	課長	杉木 隆司	④今後の方針・課題解決策	常に様々な部門と連携・調整をはかる。毎年団体数・会員数が減少傾向にあり、高齢化もかなり進んでいることから事業全体を縮小していき、無理のない活動を継続する必要がある。					
事業期間	継続事業	会計	1	款	10	項	6	目	1	平成27年度	平成28年度	単位
	H ~ 年間									68	64	団体

平成 28 年 7 月 11 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000002	婦人会活動支援事業	① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	1,288,000 円				
施策体系	施策	27	生涯学習の推進		婦人の地位向上に努め、豊かな人間性を培い、明るく町づくりに貢献することを目的として、下記の事業を実施する。 ・学童を兼ねた人間性を意欲にする事業 ・(民謡講習会、指導研修会、習修授業、町議会傍聴) ・学校・家庭・地域社会への協力事業 ・(みなかみ町花火大会協力、藤原湖マラソン協力、町民体育祭協力) ・健康づくり、婦人スポーツの振興事業 ・(ハイキング、新・春ミニボール大会、健康づくり大会) ・会員相互の親睦を深める事業 ・(レクリエーション、新年昼食会) ・総会・定例会	町の広報に開催行事の案内や結果報告等を掲載し、町内へ婦人会活動の周知を行っている。	事業実績					
	基本事業	02	学習機会の充実				会員数					
根拠	無	組織	教育課	課長	杉木 隆司	④今後の方針・課題解決策	仕事を抱えている婦人も多く、全ての行事に参加するのは負担があるようである。あまり強制するのではなく、たとえ少人数でもやりたい人が楽しみながら参加できるような雰囲気作りを心がける。若い世代(30代40代)の会員も地域差はあるが活動している。地域の活動だけでなく、町婦人会の活動にも積極的に参加している様子が伺える。この世代の会員数を増やしていけるよう心掛ける。					
事業期間	継続事業	会計	1	款	10	項	6	目	1	平成27年度	平成28年度	単位
	H ~ 年間									220	217	人

平成 28 年 7 月 11 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000003	文化祭事業	① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	301,258 円				
施策体系	施策	27	生涯学習の推進		みなかみ町文化祭はみなかみ町文化協会主催、みなかみ町教育委員会後援として開催している。基本的な経費は文化協会が負担するが、一部学童への参加賞など協会の負担が難しい部分を教育委員会が経費負担する。	文化協会加盟者は高齢者が多いため、文化祭と作業については教育委員会職員が代行して、無事文化祭を実施した。	事業実績					
	基本事業	02	学習機会の充実				出品者・出演者数					
根拠	無	組織	教育課	課長	杉木 隆司	④今後の方針・課題解決策	高齢者が多く、文化協会加盟者も減少している現状で、規模を縮小しながらも文化事業の一環として文化祭を継続していく必要がある。					
事業期間	継続事業	会計	1	款	10	項	6	目	1	平成27年度	平成28年度	単位
	H ~ 年間									2,620	2,647	人

27 生涯学習の推進

平成 28 年 7 月 11 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000004	おもしろ科学教室事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	21,774 円	
施策体系	施策	27	生涯学習の推進		子どもたちの「科学する心」を育むとともに、青少年の学校外活動の充実を図るため、科学実験・科学工作・野外観察などの体験活動を実施する。	今年度もサイエンスインストラクターの会員の方に協力をいただき、円滑に運営ができた。	事業実績			
	基本事業	02	学習機会の充実				実施回数			
根拠	無	組織	教育	課	特に問題なく良い活動ができており、関係機関との連携も良好なので、今後も継続していきたい。	④今後の方針・課題解決策		平成27年度	平成28年度	単位
事業期間	継続事業	無	生涯学習推進 G	課長		杉木 隆司			2	2
			会計	1	款	10	項	6	目	1

平成 28 年 7 月 11 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000005	文化振興費補助金交付事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	500,000 円	
施策体系	施策	27	生涯学習の推進		文化・社会教育の振興を図るため予算の範囲内で活動団体に対して補助金を交付する。社会教育委員で構成する審査会で交付の審査を実施する。	補助金申請事務等を補助しながら、7団体の文化振興事業へ補助金を支出した。	事業実績			
	基本事業	02	学習機会の充実				交付件数			
根拠	有	組織	教育	課	様々な社会教育団体がある中には補助金交付手続等の事務をほとんど行えない(できる人がいない)団体がある。しかし、事務担当者が一緒に申請書や報告書を作成してあげないと、結局、このような団体は活動できなくなってしまう。	④今後の方針・課題解決策		平成27年度	平成28年度	単位
事業期間	継続事業	無	生涯学習推進 G	課長		杉木 隆司			7	7
			会計	1	款	10	項	6	目	1

平成 28 年 7 月 11 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000006	生涯学習フェスティバル事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	569,310 円	
施策体系	施策	27	生涯学習の推進		生涯学習に関連する気運向上を図り、関連団体の交流を促進する。	社会教育委員を主管団体にして広く協力者を募り、そうすることで事業周知も促進を図った。	事業実績			
	基本事業	02	学習機会の充実				発表者数・参加者数			
根拠	無	組織	教育	課	どのような団体に協力を依頼していくか協力団体の選考が難しくなっている	④今後の方針・課題解決策		平成27年度	平成28年度	単位
事業期間	継続事業	無	生涯学習推進 G	課長		杉木 隆司			30・160	50・250
			会計	1	款	10	項	6	目	1

平成 28 年 7 月 11 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000007	生涯学習講座事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	246,697 円	
施策体系	施策	27	生涯学習の推進		住民の生涯学習活動の入り口としての講座を開設する	毎回参加者アンケートを実施し、その中で住民ニーズを把握した。	事業実績			
	基本事業	02	学習機会の充実				講座回数・出席者数(延べ)			
根拠	無	組織	教育	課	ニーズに基づきつつ、継続して学習できる環境があるメニューの選定に苦慮する	④今後の方針・課題解決策		平成27年度	平成28年度	単位
事業期間	継続事業	無	生涯学習推進 G	課長		杉木 隆司			11・360	10・255
			会計	1	款	10	項	6	目	1

27 生涯学習の推進

平成 28 年 7 月 11 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000009	成人式事業	① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費	535,902 円		
施策体系	施策	27	生涯学習の推進				②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策			事業実績		
	基本事業	02	学習機会の充実								参加者数・新成人数		
根拠	無	組織	教育	課	課長	杉木 隆司	予算が少ないため、選べる企画に限られる。予算を掛けず、なおかつ地元に着目を持ってもらうためにも、出来るだけ地元の人材を活用したい。			「みなかみ源流大学」の一環として、講師を新治地区出身の大学教授に依頼し講演会を企画することができた。			
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	10	項	6	目	1	平成27年度	平成28年度	単位
											182・233	187・230	人

平成 28 年 8 月 18 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000010	芸術のまちづくり実行委員会活動支援事業	① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費	615,374 円		
施策体系	施策	27	生涯学習の推進				②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策			事業実績		
	基本事業	02	学習機会の充実								ワークショップ開催回数		
根拠	無	組織	総合戦略	課	課長	宮崎 育雄	・展示場所及び展示作品の固定化。新規展示場所の開拓。 ・地域に密着した活動の充実。 ・解散したNPOに代わる協力者を見つける必要がある。 ・オブジェの収集については、引き受けられないよう東京芸大に働きかける。			・湯宿温泉地区でのアートイベント開催→地域住民の協力を得る事が出来た。活動を行った学生との交流が深まった。学生の制作活動に良い影響を与えた。 ・展示作品の入れ替えと新規展示場所を探す。 ・傷んだ作品の修繕を行う。 ・学生達が活動できる新たな地域を開拓。			
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	7	項	2	目	2	平成27年度	平成28年度	単位
											1	1	回

平成 28 年 7 月 5 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000011	カルチャーセンター文化振興事業	① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費	2,336,957 円		
施策体系	施策	27	生涯学習の推進				②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策			事業実績		
	基本事業	02	学習機会の充実								振興事業実施回数		
根拠	無	組織	教育	課	課長	杉木 隆司	町民の生涯学習に役立つ事業を、自主事業として開催し、生涯学習の推進・文化振興を図る。			運営委員会に諮って知恵を借ります。また、打合せの日程等をこちらサイドから提案し、先回りするようにする。			
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	10	項	6	目	3	平成27年度	平成28年度	単位
											2	2	回

平成 28 年 7 月 11 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000012	牧水顕彰大会事業	① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費	59,620 円		
施策体系	施策	27	生涯学習の推進				②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策			事業実績		
	基本事業	02	学習機会の充実								作品応募者数		
根拠	無	組織	教育	課	課長	杉木 隆司	平成28年度は牧水顕彰大会(宮崎県)を視察し、大会の内容を把握し、本町での大会実施を検討する。			実行委員会と綿密に連携して、他県での様々な事例を調査研究して、平成29年度の県大会、平成30年度の全国大会企画立案に役立てた。			
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	10	項	6	目	1	平成27年度	平成28年度	単位
											0	0	人

27 生涯学習の推進

平成 28 年 7 月 11 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000001	利根沼田文化会館運営費負担事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	25,340,000 円			
施策体系	施策	27	生涯学習の推進		利根沼田地域の福祉の増進と文化の発展に寄与するため利根沼田広域市町村圏進行整備組合で設置した文化会館の維持管理に要する費用を圏域市町村で負担するもの。	来年度の全面改修工事に向けて、社会教育担当者研修会において館内施設を見学し実態を把握することができた。	事業実績					
	基本事業	03	学習環境の整備				施設利用者数					
根拠	無	組織	教育	課	杉木 隆司	②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策				
			生涯学習推進 G	課長		建設当時と37年経過した現在とで利用実態が変わってきており、当初の費用負担が現状とマッチしているのか検証すべき。	来年度の全面改修工事の着工にあたり、カルチャーセンター等に利用客が分散することが推測されるため対応が必要となる。					
事業期間	継続事業	会計	1	款	10	項	6	目	1	平成27年度	平成28年度	単位
H	～	年間								81,928	85,341	人

平成 28 年 7 月 11 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000003	中央公民館管理運営事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	2,898,230 円			
施策体系	施策	27	生涯学習の推進		中央公民館の管理運営を行い、社会教育の推進をはかる。社会教育委員を含めた町内の様々な社会教育団体の事務局が置かれ、それぞれの事務を行う。	修繕箇所を発見した際には、業者に依頼し、見積・修繕対応を行った。また、利便性を考慮し、7月より土足での開放をした。	事業実績					
	基本事業	03	学習環境の整備				公民館利用者数					
根拠	無	組織	教育	課	杉木 隆司	②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策				
			生涯学習推進 G	課長		他市町村の公民館利用状況を参考にし、利用料、受付方法等を検討していく。また、施設の老朽化により、修繕箇所が増加してきている。	施設の経年劣化により、修繕必要箇所が発生すると推測されるので、予算等支障のない範囲で検討・実行していく。					
事業期間	継続事業	会計	1	款	10	項	6	目	2	平成27年度	平成28年度	単位
H	～	年間								12,150	9,398	人

平成 28 年 7 月 11 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000004	水上公民館管理運営事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	8,504,424 円			
施策体系	施策	27	生涯学習の推進		主に水上地区内の社会教育団体が社会教育活動を実施している水上公民館の管理運営を行い、社会教育の推進をはかる。その他、一般町民が様々な会合を実施するために施設を利用する際に便宜を図る。	雨漏りなど、修繕が必要な場所についての予算化をした。	事業実績					
	基本事業	03	学習環境の整備				公民館利用者数					
根拠	無	組織	教育	課	杉木 隆司	②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策				
			生涯学習推進 G	課長		施設の老朽化が目立ってきている。緊急避難場所に指定されていることもあり、注意が必要。	利用客の安全面等を考慮し、緊急性の高い修繕箇所については迅速な対応が必要となるので随時検討していきたい。					
事業期間	継続事業	会計	1	款	10	項	6	目	2	平成27年度	平成28年度	単位
H	～	年間								9,802	9,365	人

平成 28 年 7 月 5 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000006	カルチャーセンター管理運営事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	14,542,837 円			
施策体系	施策	27	生涯学習の推進		センターの施設・設備及び児童図書室の環境を整備し、文化活動・鑑賞等の場や機会の提供及び情報の発信等の各種サービスを行うことによって、芸術文化に親しんでもらうとともに、生涯学習の推進に取り組む。	ホール利用申請者との打合せを充実し、綿密に準備することにより円滑な利用を心掛けている。また、操作技術のマニュアル化や習熟に心掛けている。	事業実績					
	基本事業	03	学習環境の整備				施設の利用者数・施設の利用回数(全施設利用団体の累計)					
根拠	無	組織	教育	課	杉木 隆司	②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策				
			生涯学習推進 G	課長		メディアの多様化などにより、文化会館・図書館の事業への期待感や要望が薄れている。また、利己的利用者の増加やニーズの多様化により、共有物・共用の時間としての意識が薄れている。館運営の財政的措置及び人的措置がなければ遂行できない。さらに、職員の休暇や勤務時間など独自の制度体系が必要である。	蔵書の充実、照明や音響の操作技術の習熟等利用者の要求に沿った予算計上や技術研修を進める。					
事業期間	継続事業	会計	1	款	10	項	6	目	3	平成27年度	平成28年度	単位
H	～	年間								38908 588	20190 697	人・回

27 生涯学習の推進

平成 28 年 7 月 11 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000007		水上中部コミュニティセンター管理事業			① 事務事業の内容			③課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費	234,094 円	
施策体系	施策	27	生涯学習の推進			水上中部コミュニティセンターの管理運営を行い、社会教育の推進をはかる。			今年度の修繕必要箇所は見受けられなかったが、今後も注意が必要になる。			事業実績		
	基本事業	03	学習環境の整備									利用者数		
根拠	無	組織	教育	課	課長	②事務事業の課題			④今後の方針・課題解決策			平成27年度	平成28年度	単位
事業期間	継続事業		生涯学習推進 G		杉木 隆司	施設の老朽化に注意が必要。施設は緊急避難場所になっている。			委託協定を結んでいる大穴地区老人会は活発にこの施設を活用している。今後も管理作業を委託し、より一層、施設を活用してもらう。			1,200	1,683	人
	H	～	年間	会計	1	款	10	項	6	目	3			

平成 28 年 7 月 9 日作成 (平成 29 年 3 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000008		図書室運営事業			① 事務事業の内容			③課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費	1,824,037 円	
施策体系	施策	27	生涯学習の推進			資料の購入・貸出・整理・保管・調査相談等の業務を行い、町民が教養及び知識を習得したり、生活に役立つ情報を得るための支援をする。又、子どもから高齢者まで幅広く利用できる環境のもとに、読書推進及び生涯学習活動の円滑化を図る。県図書館協会が主催する研修への参加及び県内の公共図書館との連携により、図書室活動の向上を図ると共に、相互貸借制度を活用して、利用者の要求に応じた資料提供を円滑に行う。			前年度実施した図書室利用に係る町民アンケート等の結果を踏まえて、社会教育委員会において、図書室の課題やあり方について継続審議を行っている。			事業実績		
	基本事業	03	学習環境の整備									図書室利用者数		
根拠	無	組織	教育	課	課長	②事務事業の課題			④今後の方針・課題解決策			平成27年度	平成28年度	単位
事業期間	継続事業		生涯学習推進 G		杉木 隆司	今後の図書室運営の方向性、電算システムの導入・維持にかかるコスト、統廃合した場合の各地域のサービス低下への対応策等について検討が必要と思われる。又、運営方法を見直した場合の予算・人員配置等が懸念される。			電算システム導入及びネットワーク化、施設の改善(書架の更新及び増設、学習スペースの確保、エアコンの設置等)、人員及び予算の確保等。			6,199	5,707	人
	H	28	～	年間	会計	1	款	10	項	6	目	5		

